

令和 7 年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

適性検査Ⅱ（45分）

— 注 意 —

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**（全7ページ）になります。**問題2**（全1ページ）は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、分かりやすくていねいな文字で書きましょう。
- 4 解答らんの外に書かれていることは採点しません。
- 5 解答用紙は全部で**2枚**あります。
- 6 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 7 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書きましょう。句読点「。、」やかっこなども一字に数えます。ただし、**問題2**は、その問題の「じこう注意事項」の指示にしたがいましょう。
- 7 「やめ」の合図があったら、途中とちゅうでも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問題1 次のあ、い の文章、じろうさんとはなこさんの会話を読み、問題に答えましょう。

あ

岡本太郎と川崎市には強いつながりがある。

そのきっかけは、岡本太郎の出生地だ。岡本太郎は、一九一一年二月二十六日に、漫画家である岡本一平と、歌人で小説家でもある岡本かの子との間に生まれた。生まれた場所は、現在の川崎市高津区二子である。生後は東京都の南青山で過ごす、一九九一年に川崎市市民ミュージアムで行われた、「川崎生まれの鬼才―岡本太郎」という展示をきっかけに、岡本は所蔵していた三百五十二点の作品を川崎市におくった。このことがきっかけで岡本太郎美術館の建設計画が始まり、一九九九年、川崎市多摩区に「川崎市岡本太郎美術館」が開館した。岡本は、自身が生まれた場所につながりを感じていた。川崎市は、地元から鬼才が生まれたことをほこりとしていた。この両者の思いがつながりをさらに強くしたのは言うまでもない。その思いを形にしたのが、岡本太郎美術館だったのである。

もちろん、美術館に行けば岡本太郎の作品を見ることができるとは、岡本は公共の場所に多くの芸術作品を残している。それは、川崎市内でも多く見ることができる。

例えば、令和五年に完成した川崎市役所の中には、「月の顔」と呼ばれる作品が設置されている。中原区にあるとどろきアリーナには一九九五年から「マスク」という作品がかざられている。五つのカラフルな顔をモチーフにした彫刻が特徴的で、同じ名前の作品が一九七〇年の大阪万博でも展示されている。また、幸区にあるミュージアム川崎シンフォニーホールには、一九六二年に制作された「空の散歩」という壁画がかざられている。この作品には、青を主体としたモザイクタイルが使われている。かつてはちがう場所にあったのだが、ミュージアム川崎シンフォニーホールが完成した二〇〇四年に、今の場所に設置された。高津区にある二子神社には「ほこり」と呼ばれる彫刻が建てられている。一九六二年に完成した。これは、岡本太郎の母である岡本かの子の文学碑となっており、台座には「このほこりを亡き一平とともにかの子に捧ぐ 太郎」と、この彫刻の制作者である岡本太郎の名が刻まれている。

A 「A」という事実からわかるとおり、岡本太郎は、自分の作品をほとんど売らなかった。それは、岡本がずっと持っていた「芸術はみんなのもの」という考え方と深く関係がある。太陽は熱も光も無限にあたえ、人間がひなたぼっこをしても決して金銭を要求することはない。芸術も同じで、**B** 「B」という思いが、公共の場で見られる作品を多く残すきっかけとなったのだ。

い

二〇二五年、大阪で「大阪・関西万博」が開きされます。「万博」とは「万国博覧会」のことで、世界中からたくさんの人やモノが集まり、その文化や産業の成果を展示します。日本では過去にも大阪で万博が開きされました。もう五十年以上も前のことですが、「万博」といえば、みなさんはどのようなことを連想するのでしょうか。大阪万博ではさまざまなものが展示されていましたが、その中でも、はく力のある大きな塔、川崎市にも関係がある芸術家が制作した「太陽の塔」を思い出す人が多いのではないのでしょうか。太陽の塔を制作したのは「岡本太郎」という川崎市出身の芸術家です。多くの人が知っている太陽の塔ですが、そこに込められた意味やメッセージをみなさんは知っていますか。Ⅰ

「太陽の塔を頭に思いうかべてください」と言われると、初めに思いうかぶのは真ん中の大きな灰色の顔でしょうか。それとも、一番上の金色の顔でしょうか。実は、太陽の塔の顔にはそれぞれ象徴するものがあるのです。私たちに見えている「顔」は三つあります。まず初めに、塔の頂部にあるのは「黄金の顔」です。その金色の顔は「未来」を象徴しています。そして二つ目は塔の正面、真ん中に位置する顔、「太陽の顔」です。少し険しいその表情が象徴するのは「現在」です。三つ目は背面の黒い顔です。その顔は「黒い太陽」と呼ばれ、「過去」を象徴しています。Ⅱ

一九七〇年の大阪万博では「人類の進歩と調和^{*9}」というテーマのもと、展示内容が考えられていました。大阪万博のプロデューサーを任されていた太郎は、「進歩」とは未来のことを考えるだけでなく、これまでの過去、そして現在もいっしょに考えるべきだと思っていました。だからこそ太郎は、太陽の塔に限らず、万博会場の「地下」・「地上」・「空中」の全体で「過去」「現在」「未来」を表現しました。それぞれの要素が一体となることで初めて「人類の進歩と調和」が表現されると考えていたのです。そして実は太陽の塔にはもう一つ顔がありました。しかし、今はいまもう所在不明となっています。「地底の太陽」と呼ばれる第四の顔は、「地上展示」と「空中展示」を支える地下の空間にありました。その最も重要な空間にあった顔は「人間の精神世界」を象徴していたといえます。私たちの「未来」「現在」「過去」、つまり「進歩」を支えるものは、私たちの「C」なのだと言っているのではないのでしょうか。Ⅲ

数多くあった大阪万博の展示物は万博閉会を機に取りこわれました。ただ一つ残り続けている太陽の塔。あれから五十年以上が経過し、日本は大きく進歩したのだと多くの人が感じています。しかし、「進歩とは何かを考えること」を太陽の塔は二〇二五年を生きる私たちに語り続けています。

【注】

- *1 鬼才・・・すぐれた才能がある人。
- *2 モチーフ・・・音楽や絵画などの創作の動機となった主要な動機や題材のこと。
- *3 壁画・・・建物のかべやてんじょうに、かざりつけのために
かいた絵。
- *4 モザイクタイル・・・一辺が五十平方センチメートル以下の
かざりつけ用タイル。
- *5 文学碑・・・文学作品に関する語や文章を記した石。
- *6 台座・・・物をのせておく台。
- *7 捧ぐ・・・まごころや愛情を示して相手につくすこと。
- *8 頂部・・・ある物のもつとも上に位置する部分。
- *9 調和・・・全体がほどよくつりあって、まとまっていること。

じろうさんとはなこさんの会話文

はなこさん

「わたしのお兄ちゃん、二〇二五年の大阪・関西万博の
ボランティアに応募おうえしたんだ。」

じろうさん

「すごいね。ボランティアって、どんなことをやるの？」

はなこさん

「会場内での施設しせつの案内と、大阪の主要な駅や空港での
案内の二種類のボランティアがあったみたいだよ。私
のお兄ちゃんは、両方応募して、どちらもできるこ
とになったみたい。」

じろうさん

「はなこさんの家族は、大阪に住んでいたことがあるの
かな。知識が無いと、ボランティアって難しいと感じ
るな。」

はなこさん

「約1程前にも大阪で万博があって、おばあちゃ
んはそれに行ったことがあると言っていたよ。でもお
兄ちゃんも私も行ったことが無かったから、この前の
冬休みに昔の大阪万博の会場へ行ってきたんだ。」

じろうさん

「それはいいね。どうだった？」

はなこさん

「もちろん、当時のものは何も残ってない...と思ってい
ただけど、一つだけ残っていたんだよね。じろうさ
ん、太陽の塔って、知っている？」

じろうさん

「知っているよ。図工の教科書にものっていたよね。け
いこ先生が、太陽の塔を作った岡本太郎は川崎にもつ
ながりがあるんだ、って言っていたよ。でも、本物は
見たことがないし、図工の教科書も正面からの写真だ
ったよね。」

はなこさん

「わたしも、正面から見た太陽の塔は知っていたのだけど、実際に見てみたら正面から見た印象とちがっておどろいたよ。」

じろうさん

「へえ、そうなんだ。正面以外には何があるの。」

はなこさん

「反対側は、2があるんだよ。」

じろうさん

「そうなんだ。初めて知ったよ。顔は一個ではないんだね。全部でいくつあるの。」

はなこさん

「本当は3個らしいのだけど、今は4個しか見られないんだって。私も4個しか見られなかった。あとひとつは、5なんだって。」

じろうさん

「不思議な話だなあ。そういえば、ぼくの家近くにも、岡本太郎の作品があるんだ。顔が五つあるんだよ。」

はなこさん

「それ、きっと6という作品だよ。」

じろうさん

「そうだった。妹のドッジボール大会の時に見て、これも岡本太郎なんだって思ったよ。」

はなこさん

「川崎市内に限らず、日本各地の公共の場所に、岡本太郎の作品があるみたいだよ。」

じろうさん

「二〇二五年の大阪・関西万博は、昔の万博とは会場が異なるんだよね。今回の万博をきっかけに、太陽の塔にも興味をもって足を運ぶ人がいるといいな。」

はなこさん

「確かに、きっと世界からたくさんの人が来るよね。じろうさんと話したこと、お兄ちゃんにも伝えてみるよ。ボランティアに生かせるかも。」

【いずれも適性検査のために作成した文章】

(1)

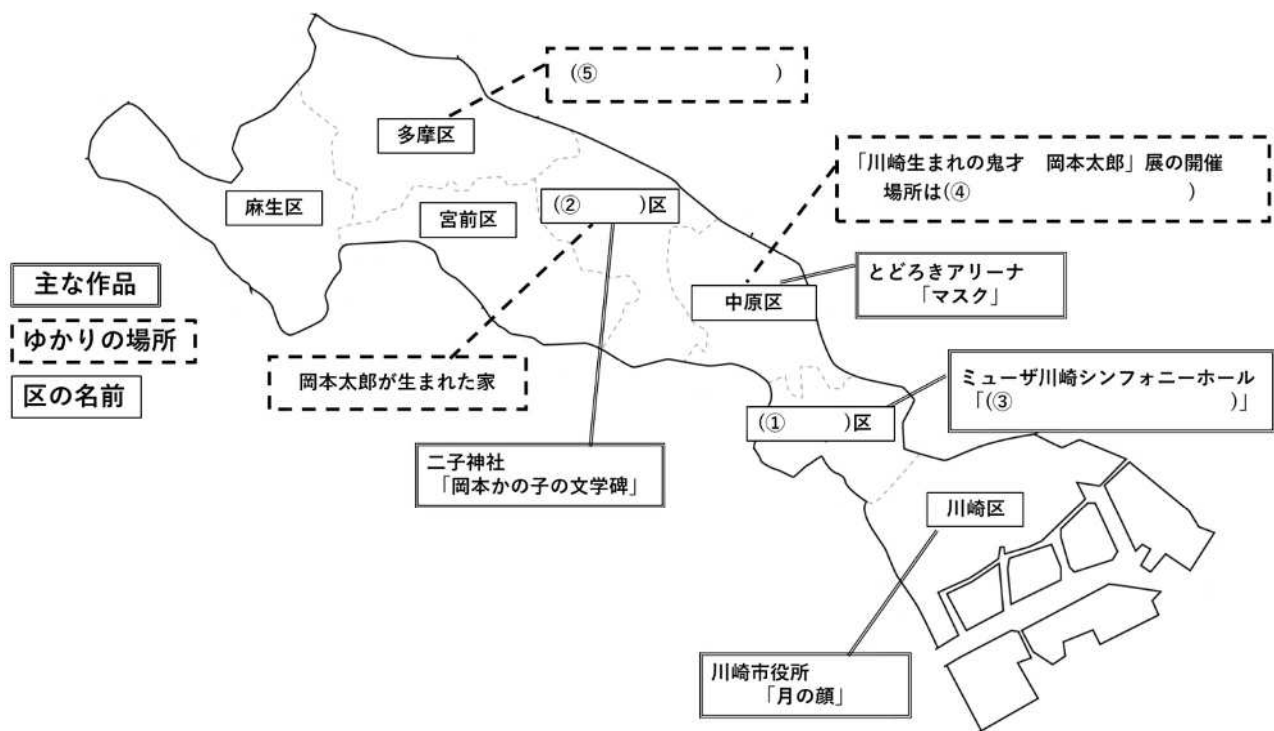
じろうさんとはなこさんの会話を読み、1から6にあてはまる言葉を、あまたはいの文章から探し、すべて四字以内で抜き出して書きましょう。

(2)

あの一線①「強いつながり」について、この文章の筆者は何がつながりを強くしたと考えていますか。解答用紙に合うように、それぞれ八字以内で書きましょう。

(3)

あを読んだじろうさんは、この内容をクラスのみんなに伝えようと考えました。言葉だけではわかりにくいので、地図を作り、地図を見せながら話すことにしました。次のページの地図の①から⑤にあてはまる言葉を、あまたはいの文章から探し、抜き出して地図を完成させましょう。



(4) あの A にあてはまる事実を、十八字で抜き出して書きましょう。

(5) あの―線②「太陽は熱も光も…」の別の事例として最も適切なものを、次の1から5の中から一つ選び、番号で書きましょう。

- 1 家族が買ってくるペットボトルの水は、いつでも私たちののをうるおしてくれる
- 2 初夏のさわやかな風は、暑くほてった私たちの体をやさしく冷ましてくれる
- 3 農業を仕事にしている人がいるからこそ、私たちは日々おいしい給食を食べられる
- 4 私が大好きなアイドルは、どんなにつらくとも私たちのためにえがおでテレビに出てくれる
- 5 私がよく行く本屋さんの店員さんは、どんなにいそがしくてもいいねいに質問に答えてくれる

(6) あの Bに入る岡本太郎の思いとして最も適切なものを、次の1から5の中から選び、番号で書きましょう。

- 1 その作品のよさをしっかりと理解した人が個人で所有すべきものである
- 2 特定の人物が入れる空間にかざられることで初めて価値を見出すことができる
- 3 みんなのものであり、より多くの人がいる場所にかざられるべきものである
- 4 みんなのものであるが、太陽とちがっていつもそこにあるわけではない
- 5 その芸術作品のよさを理解していなければ、作品を楽しむことはできない

(7) いを読み、「太陽の塔」の「位置」、「顔の名称」、「その意味」の組み合わせについて正しいものを、次の1から9の中から選び、番号で書きましょう。なお、位置「顔の名称」(その意味)の順番で並んでいます。

1	頂部	「太陽の顔」(未来)	6	頂部	「黄金の顔」(過去)
	真ん中	「黄金の顔」(現在)		真ん中	「太陽の顔」(現在)
2	背面	「黒い太陽」(過去)	7	背面	「黒い太陽」(未来)
	頂部	「太陽の顔」(現在)		真ん中	「太陽の顔」(現在)
3	背面	「黒い太陽」(未来)	8	背面	「黄金の顔」(過去)
	真ん中	「黄金の顔」(未来)		真ん中	「太陽の顔」(過去)
4	頂部	「黄金の顔」(未来)	9	頂部	「黒い太陽」(過去)
	真ん中	「太陽の顔」(現在)		真ん中	「太陽の顔」(未来)
5	背面	「黒い太陽」(過去)		背面	「黄金の顔」(現在)
	頂部	「黄金の顔」(現在)			
	真ん中	「太陽の顔」(未来)			
	背面	「黒い太陽」(過去)			

(8) 次の文が入る位置はどこですか。 いの Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの中から最も適切な位置を選び、書きましょう。

「このように、太陽の塔は全体で「未来」「現在」「過去」というそれぞれの意味をもっているのです。」

(9) Cにあてはまる言葉を、いから四字以内で抜き出して書きましょう。

(10) いの内容について最も適しているものを、次の1から4の中から選び、番号で書きましょう。

- 1 前回の万博が大阪で開催されたのは一九八〇年である
- 2 二〇二五年現在、存在している太陽の塔の顔は三つである
- 3 岡本太郎は前回の大阪万博で太陽の塔だけを作った
- 4 前回の大阪万博のために作られた展示物はすべて残っている

(11) いの―線③「進歩とは何かを考えること」について、岡本太郎が考えていたことを、「未来」「現在」「過去」という語句を使って三十字以内で書きましょう。

(12) あといの文章に共通して書かれている内容を、解答用紙に合うように十一字以内で書きましょう。

(13) じろうさんとはなこさんの会話の後、実際にボランティアを行ったはなこさんのお兄さんは、駅や万博の会場で多くの質問をされました。次の①から③の内容は、お兄さんが実際に答えたものです。どのような質問をされたと考えられますか。お兄さんが答えた内容から、質問の内容を考えて書きましょう。ただし、(例)のように答えをそのまま質問にしてはいけません。

(例) これは、りんごです。↓これは、りんごですか。

- ① 「太陽の塔」は、岡本太郎が制作しました。
- ② 万博は、二〇〇五年に愛知県でも開さいされました。
- ③ 万博会場から関西国際空港までは、直通バスが出ています。所要時間は約一時間です。

問題 2 次の文章を読み、問題に答えましょう。

あなたはクラスで卒業式前に行われる学習発表会のリーダーをしています。学習発表会では、「自分たちの成長を伝える」という大きなテーマがあり、そのテーマにふさわしい発表として、クラスでどのようなものにするかについて各班で話し合うことにしました。各班から出された案の中から「A 6年間をふりかえり、どのように自分たちが成長してきたのかを劇で発表する案」と、「B 最高学年としてこの1年間どのように自分たちが成長してきたのかを劇にして発表する案」の2つが最終的に残りました。どちらか1つに決めようとしたのですが、意見が割れ、なかなか決まりません。話し合いが長引くうちに、「じゃんけんできめればいいのではないのでしょうか。」などの解決方法を提案する人が出てきたことによって、クラスは2つのグループに分かれて言い争いまで起こってしまいました。

問題

おたがいが納得して発表内容を決めていくために、あなたは学習発表会のクラスのリーダーとして、どのような声かけをし、具体的にどのような行動を取りますか。また、なぜそのようにするのか理由も書きましょう。

[注意事項]

- 解答用紙に縦書きで書きましょう。
- 解答用紙に 300 字以上 400 字以内で書きましょう。
- 原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また、漢字を適切に使いましょう。
- はじめに題名などは書かず、1 行目、1 マス空けたところから書きましょう。自分の名前は、氏名らんに書きましょう。
- 3 段落以上の構成で書きましょう。
- 句読点〔。、〕やかっこなども 1 字に数え、1 マスに 1 字ずつ書きましょう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

解答用紙
1

受検番号



氏 名

--

(2)

川崎市に	岡本を

岡本と

川崎市の両者の思い。

④		(3)	①		区
⑤			②		区
			③		

[illegible]

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

[illegible]

(12) _____

であること。

③	(13) ②	①

下のらんには記入しない

[illegible]

[illegible]

下のらんには記入しない

--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--
